

## 第2期川越市中心市街地活性化基本計画(素案)に対するご意見と本市の考え方について

上記素案につきまして、平成26年12月1日から12月30日までの間、意見募集を実施したところ、9件のご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。提出されたご意見及びそれに対する本市の考え方を取りまとめましたので、公表いたします。なお、計画(素案)の修正等はありませんでしたが、いただいたご意見につきましては、今後の事務の参考とさせていただきます。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	市内大学生の「まちおこしサークル」とコラボして若者がいかに川越の夜に出向くかを検討し、大学生自身に企画活動してもらおう。	ご意見と類似した内容の若者誘客大学連携事業を市外観光専攻課程を有する3大学と実施しております。 今後は、市内大学とも必要に応じて、連携していきたいと考えております。
2	ライトアップは一時ではなく、一番街は一年を通じてボンボリを店先に照らし「ボンボリが灯る蔵づくり街」にする。	一番街の魅力向上の方策として、関係者にご意見を伝えさせていただきます。
3	蔵の内を改装し、レコードを聴きながらお酒が飲めるバーにする。(3～5人の蔵主で組合をつくる。姉妹都市の棚倉町に例がある。)	ご意見にあります、お酒が飲めるバーなどの先進事例も含め、調査・研究を行っていききたいと考えております。
4	店先に赤毛氈の縁台と野点傘を極力置くことで、蔵街との調和を考える。	商店街等にご意見を伝えさせていただきます。 また、設置にあたり敷地内に余地がない場合、店先が道路上となる箇所、店先の歩道が狭い箇所等があるので、道路法等の法上の課題も含め整理したいと考えております。
5	商店街店主・従業員に和装(唐棧の半てん程度でもよい)で、小江戸川越は「着物のまち」として「おもてなし」姿を定着させる。	すでに「川越きもの日」が設けられ、着物着用の運動が行われております。 ご意見につきましては、商店街等にお伝えするとともに、既存活動の周知を図りたいと考えております。
6	第二次川越市総合計画(後期基本計画)に「鉄道輸送で西武新宿線の複線化及び地下化」とある。市内に開かずの踏切(ボトルネック)も多く、特に中央通り線と市内循環線の交差点直ぐ西武線の踏切により両方の道路が大変な渋滞に見舞われる。連立立体化事業は膨大な予算がかかると考えられる。鉄道利用者の利便性が図られ、事業延長の短縮で費用の削減が図れる等から、西武新宿線を直接川越駅に乗り入れる案を提唱すべきと考える。	西武新宿線の川越駅への直接乗り入れにつきましては、川越駅西口地区の都市計画道路の整備や本川越駅西口整備にあわせた都市計画道路整備等を検討することで、現在の配置のまま、ボトルネックの解消や三駅の回遊性を向上させることによる交通円滑化等を促進することで、利便性の向上を図ることを考えております。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
7	<p>観光客の歩行者の安心、安全を図るため中央通り線のある区間は一方通行一車線の実現方策が求められる。そのために、本川越駅～笠幡小仙波線間は旧沿道型区画整理事業で歩道の整備を図る。特に観光客が多い笠幡小仙波線～三田城下橋線間の区間の交通規制による周辺道路の交通量増や定時バス運行を抑える交通計画とする。郊外に向かう定時バス利用者の利便性を考えた交通計画で普通バス運行する。観光バス用には現在ある市役所裏駐車場、民間駐車場、初雁公園の他、駐輪場整備を図る。</p>	<p>中央通り線に係る交通政策につきましては、郊外型駐車場の整備や自動車の迂回誘導等の施策により交通渋滞の緩和を図るとともに、バス路線を含めた公共交通網の適切な整備について、検討を進めております。また、本川越駅交差点から連雀町交差点までの間は、川越都市計画事業中央通り沿道街区土地区画整理事業の実施により歩道が整備されるところです。</p> <p>観光バス用の駐車場や自転車駐車場の整備につきましては、既存駐車場の利用率やニーズ等を勘案しながら、より便利に利用できるよう検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
8	<p>「中央通り（昭和の街）楽しく賑やかなまちにする会」とある。昭和の時代を観光客にテーマ毎、見て楽しみ、聞いて楽しみ、味わって楽しみながら昭和の時代を体験して貰うまちづくりで蔵造りの町並みと並ぶ集客が期待できると考える。</p>	<p>ご意見でございますように、市としても一番街周辺における昭和の町並みの保存・活用による賑わいづくりの重要性を認識しているところです。地元関係者に対しましても、ご意見を伝えさせていただきます。</p>
9	<p>旧市街地の交通規制、市北部の広域地域の利便性、市街地になじまない鉄道操車場等を考えると第一次総合計画にあったJR西川越駅と北環状線間に東上線新駅を設け、若者誘導の先端情報未来都市の創造が望まれる。</p>	<p>本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化の進展などを勘案しますと、実現は難しいと考えますが、市全体の計画の中で当該地区の特性を生かしたまちづくりについて検討していくことが必要であろうと考えております。</p>